

創造

JA いけだ
CREATION

今月の表紙は利別川にか
かる川合橋近くで撮影した
星空です。(川合地区)

CONTENTS

- ※ 第1回 部会長会議
- ※ 21NEWS アラカルト
- ※ 「十勝池田町フェア」を開催
- ※ 小中高校生向け食育動画を配信中!
- ※ 小豆大研究
- ※ 畜産部通信

- ※ 石田邦雄の農業拾い読み
- ※ 月間行事予定
- ※ 理事会の動き
- ※ 今月の1枚
- ※ 編集後記

2022.

3
MARCH

No.147

第1回 部会長会議

令和4年1月17日（月）本所大会議室において第1回部会長会議が開催されました。

報告事項6点について事務局より報告後、以下4点について協議されました。

- (1) 部会の統合について（清見Ⅰ、様舞） (2) 部会長会役員の選任について
(3) 役員報酬審議会委員の選任について (4) 地区懇談会開催について (5) その他

部会長会会長には千代田北地区：太田孝臣氏、副会長には美加登地区：吉野一郎氏、川合Ⅱ地区：窪田満穂氏が選任されました。

役員報酬審議会委員には川合Ⅰ地区：十河耕大氏、豊田地区：守内拓司氏、清見Ⅱ地区：多田勝氏、昭栄北地区：十河秀樹氏、大森第二地区：吉田岳大氏、常盤第三地区：萬範夫氏の6名が選任されました。

各地区部会長紹介

全24地区の部会長の皆様をご紹介します。（敬称略）

※本年度より、以下の地区が統合されそれぞれ変更されております。

- ①豊田Ⅰ、豊田Ⅱ → 豊田地区 ②清見Ⅰ、様舞 → 清見Ⅰ・様舞地区
③東台三愛、東台Ⅰ、東台幹線、富岡 → 東台・富岡地区



千代田東
伊 部 宏 之 ⑨



川合Ⅰ
十 河 耕 大



利 別
梅 田 和 男 ⑨



豊 田
守 内 拓 司



千代田北
太 田 孝 臣



千代田南
野 尻 祐 二 ⑨



清見Ⅱ
多田 勝^新



清見Ⅰ・様舞
矢柳 敏弘



青山・十日川
鴨川 武司^新



昭栄北
十河 秀樹^新



昭 栄
鈴木 啓弘^新



昭栄南
秋田 吉仁^新



近 牛
坪原 正幸^新



川合Ⅱ
窪田 満穂^新



東台・富岡
清水 孝悦^新



大森中央
高橋 恭平



大森第一
吉田 宏大



高 島
山本 斉史^新



美加登
吉野 一 朗



信 取
中野 義 嗣[®]



大森第二
吉田 岳 大



常盤第三
萬 範 夫[®]



常盤第二
神 田 博 文



常盤第一
松 本 和 明

21NEWS
アグリカルド

資 材 課

令和4年度 農薬早期予約取りまとめ

「令和4年度農薬早期予約取りまとめ」を昨年末から1月31日にかけて実施致しました。

昨年に引き続き、全品5%・重点20品目は12%値引きで実施致しました。2月15日現在で、池田地区では101百万円、高島地区では48百万円、合計149百万円のお申込をいただきました。

程なく農作業のシーズンが本格化するにあたり、生産資材課では病虫害発病予察等の情報収集並びに組合員の皆さまへの情報発信を恒常的に行って参りますとともに、各種営農資材の取りまとめを実施し、組合員の皆さまの生産コスト低減に向け努力してまいりますので、今後とも生産資材課をご利用いただきますようお願い申し上げます。

最後に、「令和4年度農薬早期予約取りまとめ」をご利用いただきました組合員の皆さまに深く御礼申し上げます。

(記事・購買部生産資材課 桜井綾之)



畜産部

長島正典さん(千代田地区)全国大会出場へ ～JA十勝池田町草地更新運動実を結ぶ～



令和4年1月27日に札幌で開催された全道青年農業者会議畜産経営部門で長島正典さんが最優秀賞を受賞され、3月2日に東京（WEB）で開催される全国青年農業者会議に出場することになりました。

受賞した発表内容は、良質な粗飼料確保のため河川敷草地の植生改善に関係機関と連携して取り組み、除草剤の代わりに生育旺盛なライ麦を活用し、粗飼料を確保しつつ、メドウフォックステイル※1（以下MFT）の生育を抑制する3年間の取り組みです。

長島さんはこの活動を通じて多くの人とつながりができ、相談できる人も増えて今後も多くの人からの支援を受けつつ、農業を続けていきたいと語ってくださいました。



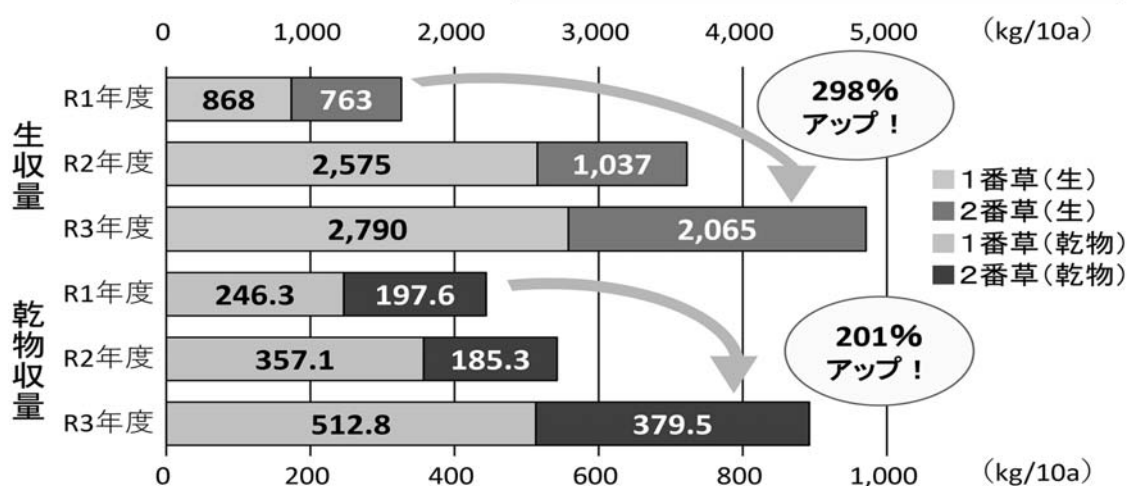
発表動画

長島さんの全国大会でのご活躍を期待しております。

（記事・畜産部畜産課 課長補佐 松坂昌信）

収量（試験区A）

R1年度:MFT R2年度:ライ麦 R3年度:OG※2



※1 メドウフォックステイルはイネ科牧草の一種で、出穂するのが5月中旬と非常に早く、出穂後は栄養価が極端に低下することから、採草地においては収量性や嗜好性が低いいため、雑草として位置づけられています。

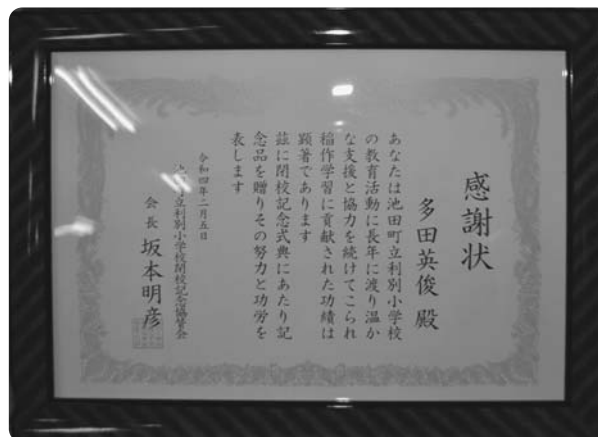
※2 OG（オーチャードグラス）

営 農 部

多田 英俊さん (千代田地区) 利別小学校閉校記念式典にて感謝状を授与

令和4年3月末に高島小学校と利別小学校、池田小学校が統合されることに伴い、2月5日(土)に、利別小学校の閉校記念式典が同校で行われました。式典の中で、当組合員の多田英俊さん(千代田)に対して、池田町立利別小学校閉校記念協賛会坂本明彦会長より感謝状が授与されました。

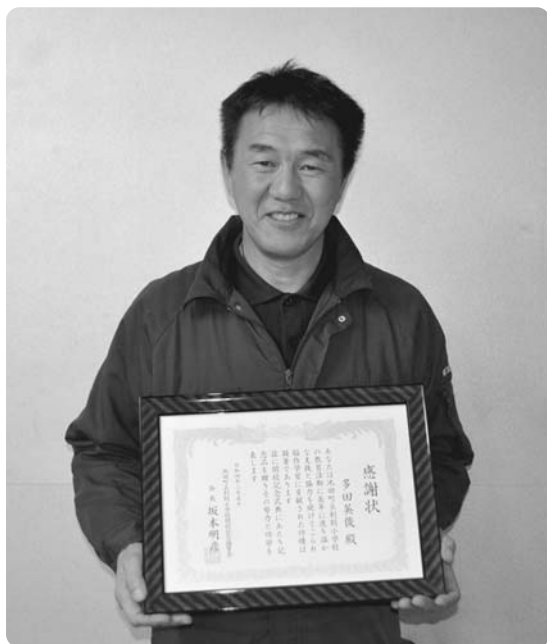
多田英俊さんは、池田土地改良区の役員を務めており、小学校の社会科・総合学習の一環として「稲作体験学習」を行ってきました。この総合学習は2015年から行っており、多くの子どもたちの思い出に残った事と思



います。始まりは、当時の担当の先生が「自分がこどものころ稲作体験をしたときの、あの土を踏む感触は今でも忘れられない。生徒たちにもそういう体験をしてもらえたら」という想いと、「主食であるお米について少しでも興味をもってもらえるならば」という多田さんの想いが重なったことがきっかけだったそう。お米について初めて知ることに驚く子どもたちが多くいたことを笑顔で語ってくださいました。

多田さんは感謝状について「たまたま自分が代表で受け取っただけで、協力してくれたみんながいたから感謝状を頂けた。支えてくれたみんなに感謝したい」と述べられました。

次ページには総合学習の給食の様子が掲載されていますので合わせてご覧ください。



千代田地区：多田英俊さん

(記事・営農部営農企画課 柳 嘉則)



小学生の社会科・総合学習の一環である、稲作体験学習の様子

当日の様子



信用部

総合学習における 給食に招待されました

利別小学校では、子どもたちが、農産物を栽培する苦労や収穫する喜びを知り、食への感謝の心を育めるよう、毎年、総合学習の一環として田植えや稲刈りを行っており、収穫されたもち米を使用した赤飯が1月28日（金）に学校給食にて提供されました。

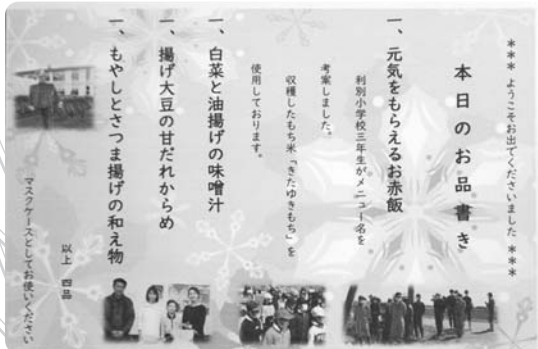
総合学習のお手伝いをさせていただいた当JAをはじめ、十勝農業改良普及センター、池田土地改良区が、学校給食にご招待いただき、子どもたちと一緒に、3年生がメニュー名を考案した「元気をもらえるお赤飯」をいただきました。

利別小学校は本年度末に閉校を控えており、池田小学校に統合となりますが、農業と食の大切さを学べる稲刈り体験が続くことを願い、今後も子どもたちを応援していきたいと思ひます。

（記事・信用部貯金共済課 課長 穴澤都美恵）



当日の給食



マスクケース仕様の「お品書き」



お品書きの裏面には収穫時の写真

施設課

農産センター産業医巡回について

農産部施設課両センターでは、11月より帯広厚生病院の医師と健診センター産業保健師2名が月1回の巡回を行っています。

施設毎にどのような作業が行われ、従業員の動き、設備を見たうえで安全対策がどの程度行き届いているかを確認して頂いています。安全を意識する取組みとしてパート従業員のオレンジ色のキャップの着用など評価を頂く一方で、安全対策への運用と効果に改善の余地が見られることも確認事項として出ております。

今後は、当JAの安全対策が安全衛生委員会での協議を通じ、各部へ情報が共有され職員の安全意識が高まる活動を目指します。3月には新年度1回目の委員会が開催されます。当JAの取組が管内JAにも事例紹介されるよう進めてまいります。

（記事・農産部施設課 課長 梶木和也）

「十勝池田町フェア」を開催

東光ストアにて

1月19日～20日の2日間、札幌東光ストアにて十勝池田町フェアが開催されました。

例年生産者による店頭PR販売を実施してありましたが、コロナ感染が拡大している状況を踏まえ、残念ながら出向く店頭販売を中止することとしました。

出向くことが出来ない状況のなか、お客様と産地を結ぶ新たな販促として、売場に液晶ディスプレイを設置し、ZOOMでお客様と生産者がお話をする場を設けました。

ネバリスター部会の鴨川副部長にご出演頂き、画面を通して「いらっしゃいませ」とお声がけし、店頭に立つ㈱ワタリ担当者が「産地の生産者の方と中継が繋がっていますよ。お話してみませんか?」とお客様にお声がけすることで、通りかかるお客様が興味を持っていました。

出向くことが出来なくても、画面を通してではありますが、池田町産の美味しい農産物を心待ちにしているお客様と触れ合える良い企画だったと思います。今回のフェアでは、ネバリスター、馬鈴薯、玉ねぎ、豆のほか、つくねいもを初めて販売しました。フェア期間中は、連日の雪も止み天気が良く、また東光デー（特売日）であったため、大変好調な販売となりました。

コロナの影響により、今まで当たり前に出ていたことが出来ない状況が続いておりますが、コロナだから何も出来ないではなく、今までとは違った形の新たな販促活動に取り組み、池田町産の美味しい農産物をお客様にお届けしていきます。

（記事・農産部農産課 課長 石丸 稔）



豆類をジョッキで掬い、2杯分を袋詰めして提供



東光ストアでの販売の様子



農協第2事務所よりZOOMで販売ブースと繋ぎ、消費者の皆様と直接対話！



農業・農村ふれあいネットワーク × JA北海道中央会

小中高校生向け 食育動画を配信中！

子供たちの健全な成長を支援するため、
農業・農村ふれあいネットワークがJA北海道中央会と連携し、
食育動画を作成いたしました。

NEW!

▶ 北海道農業シリーズ（小学校低学年用・高学年用・中高生用）

北海道農業の基本情報から歴史・現状まで、幅広く学ぶことが出来る内容です。



小学校低学年用
「一緒に学ぼう！北海道の農業」



小学校高学年用
「もっと知ろう！北海道の農業」



中学生・高校生用
「日本の食を支える北海道農業」

▶ 北海道の食べ物（小学校低学年用）



▶ 食料自給率（小学校高学年用・中高生用）



動画の視聴はこちらから！

- ▶ JA北海道中央会
公式Youtubeチャンネル
※再生リスト「食育動画」



▶ JAグループ北海道ポータルサイト 「小中高校生向け食育動画の配信」

※ ポータルサイトには、動画と併せて、
アンケート用紙や確認テスト用紙も
掲載しています



毎日の食卓に！

小豆大研究

日本人に最もなじみのある豆の一つ、小豆。

低脂肪で高タンパク質、ヘルシーな上に

不足しがちな栄養素を豊富に含む、

魅力的な食材です。

毎日の食事にぜひ取り入れたいですね。

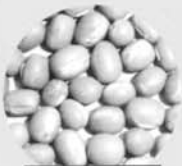
小豆について

小豆と書いて「あずき」と読みます。江戸時代の学者・貝原益軒の『大和本草』（やまとほんぞう）によると、「あ」は「赤色」、「つき」は「溶ける」の意味があり、赤く、煮ると皮が破れて崩れやすいことから「あずき」になったといわれています。

主要産地は北海道で、国内生産の9割以上を占めています。小豆には普通の赤色の小豆のほか、粒の大きな「大納言」や黄白色の「白小豆」などの種類があります。関東地方で赤飯に使われることが一般的な「赤さざげ」は、姿・形が小豆によく似ていますが別の種類の豆です。



小豆の花



白小豆



小豆

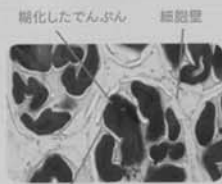


イラスト：服部新一郎

健康効果が期待できる「あん粒子」

あん粒子は、小豆やいんげん豆などでんぶんが多い豆類を加熱するとできる特有の成分で、タンパク質の膜がでんぶんを包み込んだ粒子です。食物繊維の量が乾燥豆のときより大幅に増加する特性があり、消化されにくく食物繊維と同様に働きます。脂質代謝、腸内免疫作用の改善など健康効果が期待されています。

ゆでてあん粒子化した
金時豆の細胞
(顕微鏡写真)



タンパク質の皮膜
※細胞の構造がはっきり分かるよう、でんぶん粒を彩色して撮影

小豆の栄養と健康

粒は小さくても栄養価に優れている小豆。低脂肪、高タンパク質で、不足しがちなビタミンB群や各種ミネラルを豊富に含んでいます。

最近では、小豆に含まれるポリフェノールや食物繊維といった機能性成分の多さも注目されています。強い抗酸化作用を持つポリフェノールは、免疫力の増強や抗アレルギー作用、動脈硬化の予防など、さまざまな効果があるといわれ、食物繊維には便秘の予防や発がん物質など有害物質の早期排出の効果もあると考えられています。

小豆を毎日の食事に

赤飯やいとこ煮など伝統的な料理以外は、和菓子など甘い食べ物に使われるイメージが強い小豆ですが、栄養価の高さ、機能性成分の豊富さから、毎日の食事にぜひ取り入れたい食材です。

料理に使う際は下ゆでをする必要があります、手間がかかって面倒に思われるかもしれませんが、でも、一度に多めにゆでて小分けにして冷凍保存すれば1カ月持ちます。もう1品欲しいときやトッピングなど、すぐに使えるので重宝します。スーパードライなどで、水煮やゆで小豆の缶詰、レトルトパウチ製品が出回っているのも利用しやすいでしょう。また、乾燥豆は賞味期限が常温で2年間と長期保存が可能なので、買い置きをお勧めします。

歴史に見る小豆と日本人の関わり

日本では、縄文時代から古墳時代前期まで、遺跡から小豆の炭化種子が発見されています。小豆の名は、奈良時代初期の『古事記』に初めて登場します。中国に始まり、朝鮮半島を経て日本に伝えられたとされる習俗では、小豆の赤色に魔よけなどの神秘的な力があると信じられ、行事や儀式などに供されてきました。



まずは
下ごしらえ!
小豆のゆで方

新感覚で小豆をもっと料理に取り入れてみましょう。 小豆の風味や食感が楽しめるレシピをご紹介します。

- 1 さっと洗った小豆を鍋に入れ、たっぷりの水で強火にかける。しばらく沸騰させてからざるにあげてゆで汁を捨てる。
- 2 小豆を鍋に戻し、新しい水をたっぷり注いで再び強火にかける。あくを取り除き、沸騰したら弱火にし、小豆が踊らないように落としぶたをして30～40分ほどゆでる。途中、様子を見て、ゆで汁が少なくなったら差し水をして小豆が水面から出ないようにする。
- 3 軟らかくなったらゆで上がり。

このページで紹介したレシピは小豆を下ゆでして使います。



小豆とエビのマリネ

〔材料(4人分)〕

小豆(下ゆでした物)・・・100g(乾燥豆で約45g)
むきエビ・・・200g
カリフラワー・・・1/2個(200g)

A 白ワイン・・・大さじ1
塩・・・小さじ1/4
こしょう・・・少々
B オリーブ油・・・大さじ2
粒マスタード・・・大さじ1・1/2
酢・・・小さじ2
ニンニク(すりおろす)、塩・・・各小さじ1/2
粗びき黒こしょう・・・少々

〔作り方〕

- 1 エビは背に切り込みを入れてわたを除き、片栗粉適量(材料外)をもみ込み、水洗いする。水気を拭いてAを絡める。カリフラワーは小房に分ける。
- 2 耐熱ボウルにエビとカリフラワーを入れ、ふんわりとラップをして電子レンジ(600W)で5分ほど加熱し水気を切る。
- 3 (2)に小豆を入れ、合わせたBを加えてあえる。



小豆入り肉みその サラダうどん

〔材料(4人分)〕

小豆(下ゆでした物) 250g(乾燥豆で100g)
豚ひき肉・・・250g
ニンジン・・・80g
長ネギ・・・1/2本
ニンニク・・・1片
サラダ油・・・大さじ1
しょうゆ・・・小さじ1

A 水・・・1カップ(200ml)
みそ・・・大さじ3
酒・・・大さじ2
みりん・・・大さじ1

うどん(乾燥)・・・320g
サニーレタス・・・8枚(200g)
かい割れ菜(半分に切る)・・・60g
温泉卵・・・4個

〔作り方〕

- 1 ニンジン、長ネギ、ニンニクをそれぞれみじん切りにする。
- 2 フライパンにサラダ油とニンニクを入れて中火にかけ、豚ひき肉、小豆、ニンジンを順に加えて炒める。Aを加えて弱火で10分ほど煮込む。長ネギを加えて中火で煮詰め、しょうゆを加える。
- 3 うどんはゆでて流水で洗い、水気を切る。サニーレタスは細切りにし、かい割れ菜、うどんと共に器に盛り、(2)をかけて温泉卵をのせる。



小豆入り豆腐つくね

〔材料(4人分)〕

小豆(下ゆでした物)・・・100g(乾燥豆で40g)
鶏ひき肉・・・300g
木綿豆腐・・・200g
長ネギ・・・1/2本

A 片栗粉・・・大さじ2
料理酒・・・小さじ2
しょうが(すりおろす)・・・小さじ1
塩・・・小さじ1/2
黒こしょう・・・少々

サラダ油・・・大さじ1/2
水菜・・・60g
ダイコン・・・300g
ポン酢・・・大さじ2

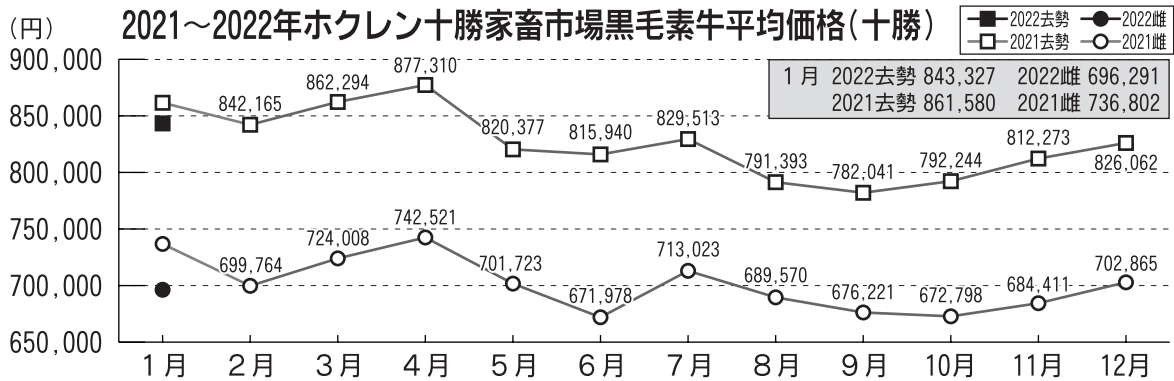
〔作り方〕

- 1 ダイコンは皮をむいてすりおろし、軽く水気を切っておく。
- 2 長ネギはみじん切りにする。
- 3 水菜は根元を切り落とし5cm幅に切る。
- 4 木綿豆腐を水切りする。
- 5 ボウルに鶏ひき肉、(2)、(4)、Aを入れよく練り混ぜる。よく混ぜたところで小豆を入れ軽く混ぜ、8等分して小判形にする。
- 6 中火で熱したフライパンにサラダ油をひき、(5)を入れて焼く。焼き色が付いたら裏返してふたをし、弱火で5分蒸し焼きにし中まで火が通ったら火から下ろす。
- 7 (3)を敷いた器に(6)を盛り付け、(1)とポン酢を添えて完成。



畜産部通信

畜産部
畜産課



1月黒毛素牛出荷区分別成績

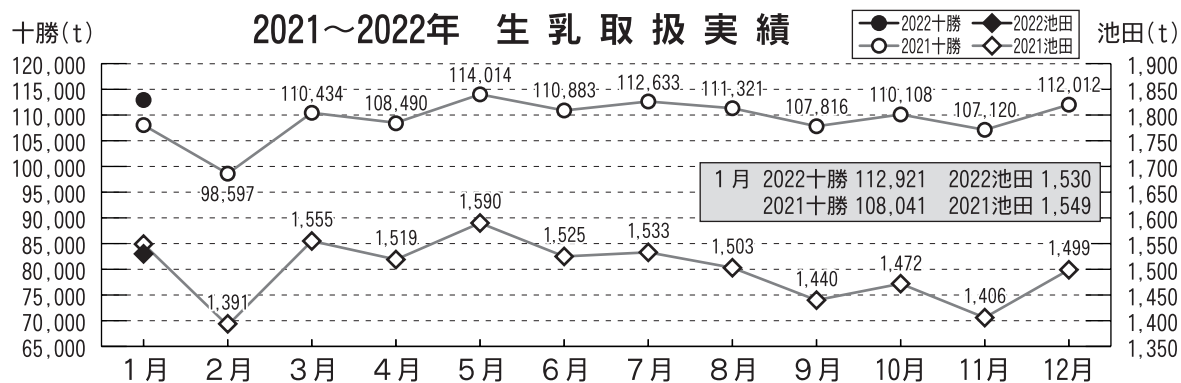
【金額(円)】

		取引頭数	平均価格(税込)	前月価格比
去勢	十勝	935	843,327	17,265
	池田	37	831,095	-23,833
雌	十勝	720	696,291	-6,574
	池田	30	716,320	22,722

1月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	規格	平均単価(税抜)
8日	黒毛去勢	A-5	2,272
		A-4	2,070
		A-3	1,826
	黒毛雌	A-5	2,263
		A-4	2,078
		A-3	1,803
	F1去勢	B-3	—
		B-2	—
F1雌	F1雌	B-3	—
		B-2	—



1月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
7日	乳牛育成	488	376,822
31日		455	372,533
20日	乳牛初妊	700	670,046
	乳牛経産	91	376,797

1月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)	前月比
乳牛オス初生	86,711	-20,944
F1オス初生	172,588	-353
F1メス初生	111,878	-704
廃用牛	154,233	+1,582

石田邦雄の
農業拾い読み
第36回

仕事の持つ有り難さ

(有)石田コンサルティングオフィス
代表取締役 **石田邦雄**



オミクロン株の拡大で第5波とは比較にならないほどのコロナ感染者の拡大。お蔭で講師を生業に、しかも力ウンセラーとしてリアルなやり取りを持ち味にしている私としても「巣ごもり生活への逆戻り」でうんざり気味です。ところでそうした中、年の瀬を間近に控えた昨年12月中旬に酪農ヘルパー全国協会から久々に連絡が入りました。「酪農ヘルパー中級者研修をJ A カレッジにて行う予定であり、ぜひ2月14日に出講を」という依頼でした。毎年恒例になっていた酪農ヘルパーの養成研修もコロナ禍の影響をまともに受け、この2年ほど全く開催されない状況にあり、コミュニケーションを軸に講義をしている私も「今年度は無理」とあきらめておりました。そ

うした中での連絡で「ようやく明かりが見え始めてきたかな」とホッと胸を撫で下ろしたのも束の間、その後におけるオミクロン株の感染者激増です。年が明けて間もない1月5日にキャンセルの連絡を頂戴する羽目に。残念に思う気持ちと、その一方でどこかで安堵感を抱く私がおりました。とはいえ、こうして全く2年間もこの種の研修がないということとは、とりわけそれを人づくりの糧として頼りにされてきた利用組合などには何かと苦慮されているのではなからうかと非常に気になっております。「3密を軸にするコロナの感染予防」と「社会経済活動を止めない」…このバランスをどう取っていくか…これは企業にとっても、また私達、一人ひとりにとっても

大きな試金石のように思えます。さて話を戻しましょう。私の仕事はある意味、「出張があつて当たり前」的なところがあります。そうするとまん延等防止措置の発出によりその機会が極端に減ることに繋がります。でも幸いなことに、こうしてペンを走らせる機会を頂いているお蔭で随分と助けられています。現在は「農家の友」「ニューカントリー」という月刊誌2冊、更にはこの「創造」を初めJ A の5箇所ほどの広報誌に連載で執筆をし、その他にも帯広商工会議所の機関誌等にも寄稿するなどしており、時間に余裕が出来た分をそちらに振り向けることができ、物書きのはしぐれとして、そうした仕事に携えることに改めて感謝しき

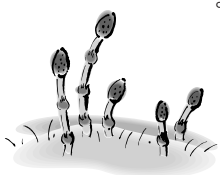
りの私です。本来、〃仕事がある時〃にそうした気持ちを抱くことが出来ると素敵なのですが忙しくなるとつい忘れがちになります。これが人間の性(さが)なのでしょう。あるいは私自身の限界といえるのかもしれませんが。ところでそれに関連した話題を一つ。以前、この「創造」にて拙著、「豊かに働き、すてきに生きる」をご紹介して頂きましたが、先日、それを読まれたある女性の方からご丁寧にお手紙を頂戴しました。長年勤めていた社会福祉関係の企業を定年で辞められたようで、継続雇用の道もあったのですが「自分なりに精一杯頑張ってきた、この辺でひと区切りをつけ、趣味などを活かした新たな自分なりの道を模索したい」という思いで。その文面でもとても目を引いた箇所がありました。それはこうです。「在職中には辛くて大変で、あんなにシンドク思っていた仕事なのに、今、こうしてそれから実際に離れてみて気がつきました。良くも悪くも『仕事で自分を支えてくれた』：辞める前にこれに気

づいていればもっと仕事にもやりがい等を感じ、より充実感を覚えることが出来たはずなのに、それが今となつては悔しいです」と。

いかがでしょうか？

「働く」とは「傍(はた)を楽にすること」です。それを通じて「他人に役立つ喜び」を実感し、それが自己成長へと結びつきます。どんな仕事にも辛くてしんどい時があり、ある意味、当たり前です。そうした時にこそ「仕事の意義を忘れず、誇りや使命感などを強く持つこと」…それにより乗り越えることが可能となり新たな自分に出会うことができます。つたない私自身の経験からもそれは自信を持つていえます。その為にもまずは「仕事に感謝する」…互いにその思いくらは共有化したいものですね。

この広報誌が組合員の皆さんに届く頃には、どうかコロナ禍が少しでも落ち着いておりますように。



理事会の動き

第13回

〈令和4年2月24日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入、脱退について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 共計品の精算について
- (4) 電子取引データ取扱要領の制定について
- (5) 組合員組織会計事務取扱要領の改正について
- (6) 固定資産現物確認実施要領の制定について
- (7) 下取品等取扱要領の制定について
- (8) 情報セキュリティ対策要領の改正について
- (9) みのり監査法人期中Ⅱ監査報告について
- (10) 令和3年度農年度理事の組合員勘定取引実績について

★ 議 案 ★

- (1) 令和4年度貸付金利率の最高限度並びに信用供与等限度額の設定について
- (2) 令和4年度農年度理事の組合員勘定取引供給限度額・貸越極度額の設定について
- (3) 令和4年度理事に対する資金の貸付について
- (4) 令和4年度理事に対する豆の買取販売にかかる包括事前承認について
- (5) 令和4年度遅延損害金の設定について
- (6) 登録金融機関業務（国債窓販業務）の廃止について
- (7) 文書管理規程の改正について
- (8) 自動車運転管理規程の改正について
- (9) 固定資産管理規程の改正について
- (10) 経理規程の改正について
- (11) 役員報酬審議会規程の改正について
- (12) 情報セキュリティ基本規程の改正について
- (13) 子会社管理規程の制定について
- (14) 令和3年度決算見通しと剰余金処分方針について
- (15) 職員に対する年度末手当の支給について
- (16) 令和4年度役員報酬額の答申について
- (17) 令和4年度事業計画の設定について
- (18) 令和4年度内部監査計画（案）について
- (19) 令和4年度経営定期点検実施計画（案）について
- (20) 令和4年度個人情報保護計画（案）について
- (21) 役員賠償責任保険の加入について

月間行事予定

行事予定は変更になる場合がございます

月日（曜日）	行 事 予 定
3 / 10（木）	ホクレン肉牛市場（F 1） ～3/11（池田上場日）
14（月）	定期コーネ病検査・ ワクチン接種巡回（牛）～3/16
17（木）	ホクレン乳牛市場
21（月）	● 春分の日
22（火）	みのり監査法人期中Ⅱ監査～3/24
28（月）	理事会（予定）
4 / 4（月）	ホクレン育成市場
6（水）	ホクレン乳牛市場

今月の1枚

玉ねぎの播種作業
始まりました！



編集後記

去年の今頃は「だんだんと暖かく感じる日が増えて…」と書き出していました。今年はずっと寒い日が続いているように思います。この寒さならば、今月の表紙に星空の写真を撮影してみました。（場所は、ドリカムの楽曲「晴れたらいいね」に登場する川台橋）

さて今年は夏季との間隔が非常に短い状態でしたが、冬季オリンピックが北京で開催されました。日本のメダル獲得数の結果は、過去最多13個を5個上回る18個となり、盛り上がったのではないのでしょうか（金3個、銀6個、銅9個）。3月4日に開会式を控えるパラリンピックも楽しみです。

新JA発足式からあつという間に1年が過ぎ2年目の春を迎えようとしています。組合員の皆様におかれましては、春作業に向けて機械の点検等が行われ始めているかと思えます。くれぐれも農作業事故等にお気を付けください。（柳）